

空気と水のテクノロジー

TECHNO RYOWA

RYOWA REPORT

株主通信 vol.23

第63期 中間期 業績のご報告

平成23年4月1日～平成23年9月30日

空気と水のテクノロジー

株式会社 **テクノ菱和**

証券コード 1965



株主のみなさまには、平素より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年3月に発生した東日本大震災により被災されたみなさまには、心よりお見舞い申し上げますとともに、今後とも被災地の復興に向けて、私どもも微力ながら努力を重ねてまいります。

さて、テクノ菱和グループはこのたび第63期（平成23年4月1日から平成24年3月31日）の中間決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

株式会社テクノ菱和
代表取締役社長 阿部 捷司

Q 上半期の建設業界を取り巻く経営環境はいかがでしたか？

A 上半期の建設業界の動向としては、政府による震災復興投資が本格化するにはもうしばらく時間がかかると思われ、民間企業の設備投資も震災の影響で一時的な落ち込みが激しく、その後も大幅な回復が見られなかったことから、低迷する建設需要により価格競争は激しくなり、受注環境は厳しい状況が続きました。

Q 上半期の業績はいかがでしたか？

A 当社グループの上半期の連結業績は、売上高23,957百万円、営業損失231百万円、経常損失121百万円、中間純損失217百万円となりました。

売上高は、前中間期と比べ増加いたしました。利益については赤字幅の改善は見られましたものの、厳しい受注環境のもと不採算工事が増加したことや、保有株式の株価下落による投資有価証券評価損を計上したことなどにより厳しい結果となりました。

中間期の業績	当中間期 (百万円)	前中間期 (百万円)
売上高	23,957	20,111
営業利益	△231	△576
経常利益	△121	△494
中間純利益	△217	△392

Q 営業力とコスト競争力の強化への取り組みについて教えてください。

A 当社は、昨年度の厳しい業績を踏まえ、早期の収益改善と経営基盤の強化を目指して、当期の基本方針に「営業力とコスト競争力の強化」を掲げました。

「営業力の強化」策としては、4月に営業推進本部を設置し、全国的な営業支援体制を拡大し本社と事業所間の相互連携の強化に取り組んでまいりました。また、将来の海外展開を見据え、インドネシア共和国の首都ジャカルタに駐在員事務所を開設し、今後の事業展開のための市場調査と営業活動を開始しました。さらに、電力供給量の不足が叫ばれるなかで、環境・省エネに関する新技術の開発にも取り組んでまいりました。その結果、海外での営業活動では徐々に成果が現れ始めております。また、エネルギーの「見える化」を提供する「R-Second Sight」や省エネ低湿度システム「RECODRY」を開発するなど、新技術の開発も行ってまいりました。

「コスト競争力の強化」策としては、新業務システムの活用による業務効率の改善や全部門におけるコスト意識の徹底などの施策を実施し、工事原価の低減や経費の削減に取り組んでまいりました。また、子会社の経営合理化と管理コストの削減を目的として、東海地方を拠点とする子会社3社を合併いたしました。

Q 下半期の見通しについて教えてください。

A 下半期の建設業界におきましては、震災復興による公共投資の増加が見込まれるほか緩やかながら設備投資の回復も期待されますが、円高や欧州金融不安など懸念材料も多く、厳しい経営環境が予想されます。このような状況のなか、引き続きコスト管理を徹底するとともに、「営業力とコスト競争力の強化」という基本方針のもと、受注の確保とコストの削減を推進してまいります。特に受注面では、今後成長が見込まれる未利用エネルギー分野での新規顧客の開拓に注力してまいります。

当期の連結業績見通しにつきましては、受注環境の改善は当面の間期待できず、厳しい環境が続くと思われることから、売上高55,700百万円、営業利益460百万円、経常利益630百万円、当期純利益170百万円を見込んでおります。

当期の見通し	当期末予想 (百万円)	前期末実績 (百万円)
売上高	55,700	47,852
営業利益	460	342
経常利益	630	503
当期純利益	170	163

Q 東日本大震災により被災したお客様への対応状況は？

A 当社は、大震災発生後、直ちに災害対策本部を立ち上げ、従業員とその家族の安否確認を行うとともに、お客様施設の被害状況の確認を行いました。さらに、サプライチェーンの寸断により不足した資材の確保を進め、関東地方や東北地方で被災されたお客様の施設の迅速な復旧に努めてまいりました。

また、震災により被災された方々の支援や被災地のインフラの復旧にお役立ていただくことを願って日本赤十字社へ義援金の寄付を行うとともに、被災者の方々が仮住まいされる応急仮設住宅の施工に携わるなど東日本大震災復興支援活動も積極的に行ってまいりました。

TOPICS

応急仮設住宅の施工

東北地方3県で東日本大震災による応急仮設住宅が建設されるにあたり、福島県[白河総合運動公園]、宮城県[七ヶ浜総合スポーツ公園]および岩手県[宮古市愛宕、西が丘公園]で合計約1,800戸の給排水衛生設備の施工を行いました。被災地の一刻も早い復興をお祈り申し上げます。



Q 株主のみなさまへのメッセージをお願いします。

A 当社は、2012年度を初年度とする中期事業計画を策定する予定であります。今後、ますます国内建設投資の縮小が予想されるなか、5年後、10年後を見据えた新たな事業の柱として検討している事業分野など当社の経営ビジョンを株主のみなさまにご報告できることと存じます。

当期末の配当金につきましては、株主さまアンケートでいただいたさまざまなお意見も参考に検討いたしましたが、従来の配当方針は維持しつつも、昨年来の厳しい業績を勘案し、誠に遺憾ではあります。1円減配の8円50銭とさせていただきます。予定にしております。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

施工実績

全星薬品工業株式会社 岸和田工場C棟・D棟増築工事



医薬品製造工場である本物件は、環境負荷の低減に配慮し、自然エネルギーを最大限に利用できる空冷ヒートポンプ機器を採用することで、CO₂の発生量を削減しております。また、生産で使用する集塵機の排気と必要な外気導入量を最適に調整できるシステムを構築することにより、外気処理に必要なエネルギーの削減を図っております。



概要	
竣工年月	平成23年8月
施工地	大阪府岸和田市
建物用途	医薬品製造工場
延床面積	4,529.0㎡
物件形態	地上4階
工事範囲	空調・換気・給排水衛生・消火・ユーティリティ設備工事

株式会社宮城二コングレシジョン 106号館1期工事他新築工事



本物件は、精密機器の生産を行う大型のクリーンルームを有する工場棟です。空調機に外調機能を集約し、機内に外気条件によって切り替えるダンパーを設け、空気の流れを制御することで省エネを図っております。

概要	
竣工年月	平成23年7月
施工地	宮城県蔵王町
建物用途	光学・精密機器製造工場
延床面積	1,597.0㎡
物件形態	地上1階
工事範囲	建築・電気・空調設備工事

JAアオレン 農産物処理加工施設建設工事



本物件は、青森県の名産品であるリンゴを加工してジュースを製造する工場です。食品の高度な衛生管理方式であるHACCPに対応しております。また、本物件は熱源システムに氷蓄熱ユニットを採用しております。このシステムは、夜間電力を使って夏場には氷を製造し、冬場にはお湯を沸かしてその冷気または熱気を屋間の空調に利用することで、エネルギーコストの削減と電力負荷の平準化を図っております。

概要	
竣工年月	平成23年4月
施工地	青森県弘前市
建物用途	農産物加工施設
延床面積	4,442.0㎡
物件形態	地上2階
工事範囲	空調・衛生・ユーティリティ配管工事

クリエ川崎ビル (仮称) 川崎駅北口地区第2街区10番地区再開発計画新築工事



本物件は、川崎駅北口地区再開発計画の一物件で、飲食店、事務所および住居からなる複合施設となっております。また、中央監視による空調・衛生、防災設備および入退室の監視・制御を行っているほか、動力使用率に基づく課金システムも導入されております。

概要	
竣工年月	平成23年8月
施工地	神奈川県川崎市
建物用途	事務所、物販店、飲食店、共同住宅等
延床面積	7,373.7㎡
物件形態	地上12階、地下1階
工事範囲	空調・衛生・中央監視設備工事

テクノ菱和の技術の紹介

Vol.01

クリーンな空間、省エネルギーなどの環境問題、きれいな水づくり・・・
テクノ菱和の技術はあらゆる所で活躍しています。
そんな「環境のトータルエンジニアリング企業」である
私たちテクノ菱和の技術をみなさまにご紹介いたします。



Check! 空気中のホコリや微粒子をシャットアウト!

クリーンルーム技術

☆クリーンルームって何?

空気中の塵埃や微粒子、必要に応じて気流や温湿度、圧力を制御できる閉ざされた空間のことです。現在では空気中の微量なケミカルガス成分も制御対象となっています。

☆どこで利用されているの?

半導体・フラットパネルディスプレイ産業をはじめとして、電子機器、光学機器、精密機器、航空宇宙機器など、広範な産業分野で利用されています。

☆クリーンルームは必要性が高いの?

製品の品質を高め、生産性を向上させるためには、高精度なクリーンルームの導入が必要不可欠です。クリーンルームは多種多様なハイテク産業にとって、まさに“空気”のようにはならない存在。テクノ菱和ではこうしたクリーンルームの設計・施工を行っています。

News!

Point!

ドラフトチャンバーって何?

ドラフトチャンバー*とは局所排気装置の一種です。化学実験などにおいて有害な気体が発生する場合や、揮発性の有害物質を取り扱う場合などに試験者の安全を確保するために用いられます。本システムは、このドラフトチャンバー向けに高速可変風量制御システムを構築することで、**排気風量の削減による省エネ効果と室圧の維持による安全性の確保の両立を実現**いたしました。

※ヒュームフードとも呼ばれています。

局所排気装置「ドラフトチャンバー」向け省エネシステム

「REAFS (Ryowa Eco and Advanced Fast System) リーフス」を開発しました。

当社は、エネルギー消費量の多いドラフトチャンバーの排気量を効果的に削減する省エネシステム「REAFS」を開発いたしました。今後、医薬品研究施設や各種実験施設での導入に向けて営業展開してまいります。

「REAFS」はどんなところが優れているの?

エネルギーコストの大幅な削減

本システムは、ドラフトチャンバーのサッシ開閉に連動して排気風量を制御する変風量システムで、常に最大風量を排気している定風量システムと比較して、年間約75%のエネルギーコストを削減することができます。

利用者の安全性を確保

サッシの開閉に連動して排気風量を高速で制御し、サッシ開口部の面風速を一定に保つことで、ドラフトチャンバーから有害物質が室内に漏洩するのを防止し、利用者の安全性を確保します。

簡単に変風量システムに変更可能

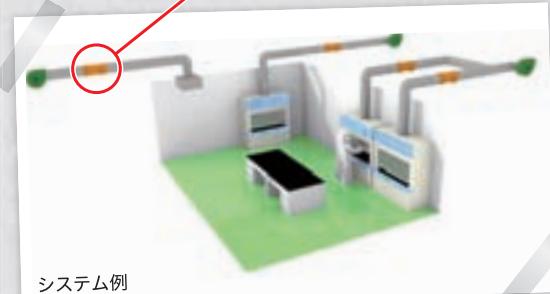
本システムは、既存の定風量システム式のドラフトチャンバーに組み込むことができ、安価で簡単に変風量システムに変更することができます。



高速可変風量制御装置



ドラフトチャンバー



システム例

連結財務諸表

中間連結貸借対照表の要旨

科目	前中間期 平成22年9月30日	当中間期 平成23年9月30日	前事業年度 平成23年3月31日
(資産の部)			
流動資産	27,252	29,954	30,865
現金及び預金	9,701	11,213	10,436
受取手形・完成工事未収入金等	15,690	17,482	18,856
未成工事支出金等	433	402	178
その他	1,427	856	1,393
固定資産	11,598	11,492	11,589
有形固定資産	3,608	3,549	3,539
無形固定資産	1,187	1,201	1,288
投資その他の資産	6,802	6,742	6,760
資産合計	38,851	41,447	42,454

中間連結損益計算書の要旨

科目	前中間期 自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	当中間期 自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	前事業年度 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高	20,111	23,957	47,852
売上原価	17,997	21,374	42,066
売上総利益	2,114	2,582	5,785
販売費及び一般管理費	2,690	2,813	5,443
営業利益	△576	△231	342
営業外損益	81	109	161
経常利益	△494	△121	503
特別損益	△71	△125	△21
税金等調整前中間(当期)純利益	△566	△247	482
法人税、住民税及び事業税	86	87	316
過年度法人税等	-	-	72
法人税等調整額	△260	△117	△71
少数株主損益調整前中間(当期)純利益	△392	△217	163
中間(当期)純利益	△392	△217	163

(単位:百万円)

科目	前中間期 平成22年9月30日	当中間期 平成23年9月30日	前事業年度 平成23年3月31日
(負債の部)			
流動負債	13,906	15,655	16,999
支払手形・工事未払金等	11,256	12,946	14,817
未成工事受入金	849	1,038	808
その他	1,800	1,670	1,373
固定負債	755	838	757
負債合計	14,662	16,493	17,757
(純資産の部)			
株主資本	23,923	24,551	24,331
資本金	2,746	2,746	2,746
資本剰余金	2,498	2,498	2,498
利益剰余金	18,682	19,310	19,090
自己株式	△4	△4	△4
その他の包括利益累計額	265	402	366
純資産合計	24,189	24,953	24,697
負債純資産合計	38,851	41,447	42,454

中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

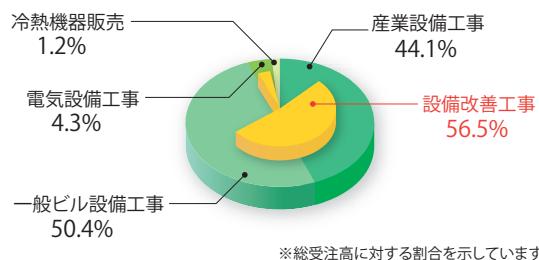
科目	前中間期 自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	当中間期 自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	前事業年度 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,361	474	△1,537
投資活動によるキャッシュ・フロー	△233	△130	△109
財務活動によるキャッシュ・フロー	△167	△157	△355
現金及び現金同等物の増減額	△2,762	186	△2,002
現金及び現金同等物期首残高	11,922	9,919	11,922
連結子会社と非連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増加額	-	319	-
現金及び現金同等物中間(期末)残高	9,159	10,424	9,919

Point

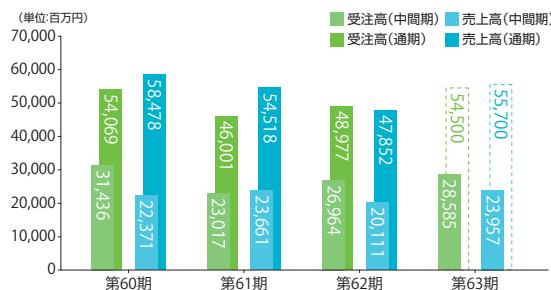
連結子会社と非連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増加額
 連結子会社の菱和エアコン株式会社、非連結子会社の菱和冷暖株式会社および菱和冷暖房株式会社の3社が、平成23年4月1日付で合併したことにより、現金及び現金同等物が増加しております。

業績レポート

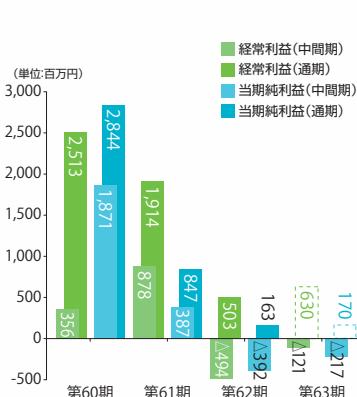
当中間期連結受注高構成比



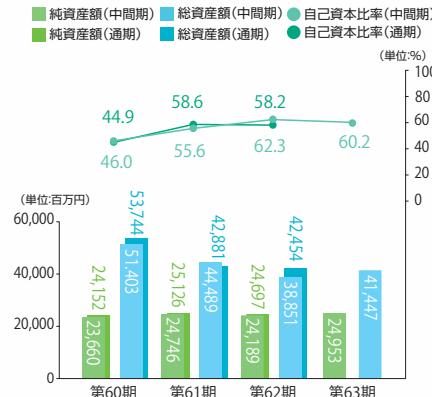
受注高・売上高



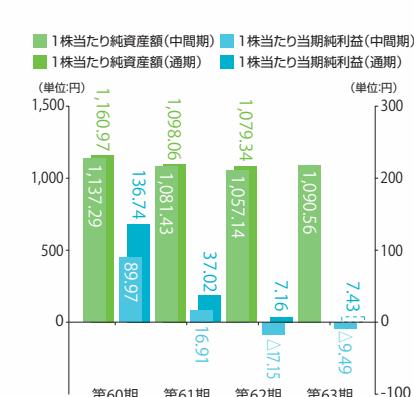
経常利益・当期純利益



純資産額・総資産額・自己資本比率



1株当たり純資産額・1株当たり当期純利益



会社概要 / 株式の状況

会社概要 (平成23年9月30日現在)

商号	株式会社テクノ菱和 (英文表記 TECHNO RYOWA LTD.)
設立	昭和24年12月23日
資本金	2,746,800,000円
上場	東京証券取引所市場第二部
従業員	669名(連結774名)
本社	東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
登記上の所在地	東京都港区赤坂8丁目5番41号
主な事業所	技術開発研究所(東京都世田谷区) 東京本店(東京都豊島区) 千葉支店(千葉県千葉市) 茨城支店(茨城県土浦市) 東北支店(宮城県仙台市) 横浜支店(神奈川県横浜市) 名古屋支店(愛知県名古屋市中) 静岡支店(静岡県静岡市) 大阪支店(大阪府大阪市) 中国支店(広島県広島市) 九州支店(福岡県福岡市)

役員 (平成23年9月30日現在)

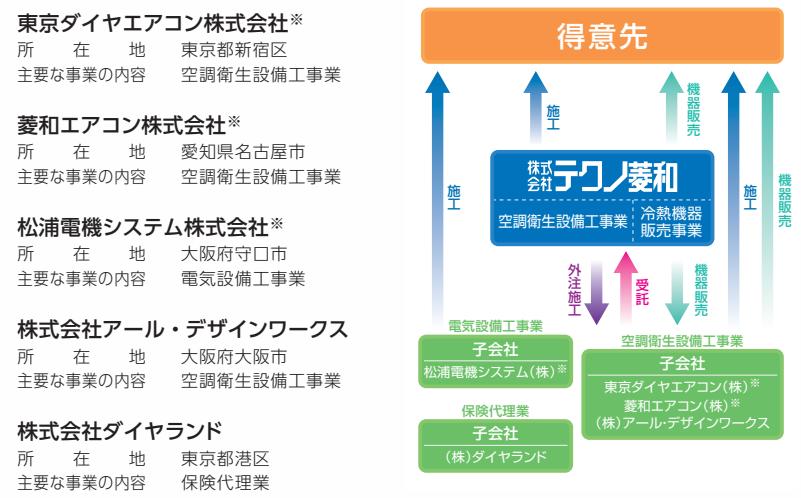
代表取締役社長	阿部捷司
常務取締役	黒田英彦
常務取締役	堂垣内重晴
常務取締役	平松博
取締役(社外)	武田公温
取締役	井尻雅之
取締役	飯田亮輔
取締役	松橋秀明
取締役	知見扶公
取締役	永江繁
取締役	濱野豊
取締役	根野孝雄
取締役	岡田秀司
常勤監査役	菱沼正義
常勤監査役	近重次郎
監査役(社外)	吉田達法
監査役(社外)	山田英雄

事業内容

当社グループは、産業用空調、冷暖房、給排水、衛生、電気設備等の設計・施工管理といった設備工事業、並びにそれらに付帯する業務を行っております。お客様のビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、設備診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、お客様を総合的にサポートしてまいります。

- 産業設備関連事業**
清浄空間を必要とする各種製造工場や研究施設等における空調衛生設備工事を行っております。
- 一般ビル設備関連事業**
事務所、学校および病院等の一般建物における空調衛生設備工事を行っております。
- 冷暖機器販売事業**
設備工事に付帯する空調機などを販売しております。
- 電気設備工事業**
松浦電機システム株式会社にて、電気設備工事を行っております。
- 保険代理事業**
株式会社ダイヤランドにて、保険代理業を営んでおります。

企業集団の状況 ※連結子会社



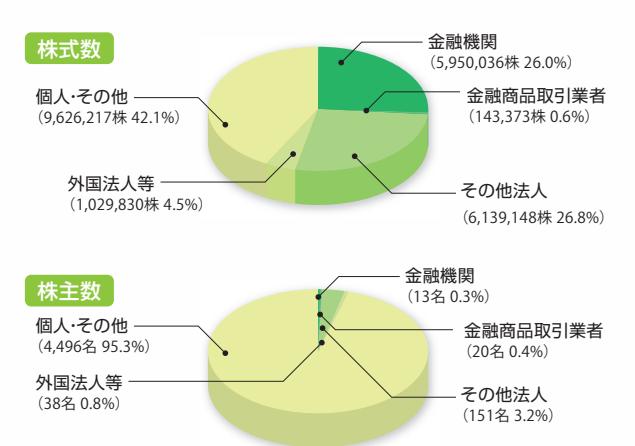
株式の状況

発行済株式の総数	22,888,604株
当中間期末現在の株主総数	4,718名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
テクノ菱和取引先持株会	1,762	7.7
三菱重工業株式会社	1,424	6.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,131	4.9
株式会社みずほ銀行	1,131	4.9
東京海上日動火災保険株式会社	906	3.9
テクノ菱和従業員持株会	838	3.6
株式会社名古屋銀行	738	3.2
明治安田生命保険相互会社	734	3.2
株式会社京葉銀行	723	3.1
近重 次郎	670	2.9

株式の分布状況

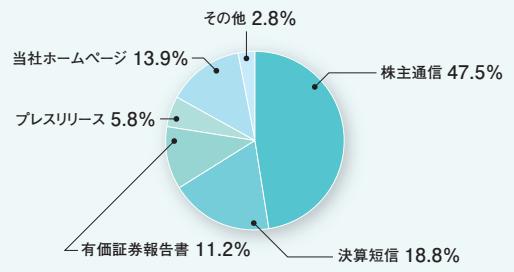


株主さまアンケート

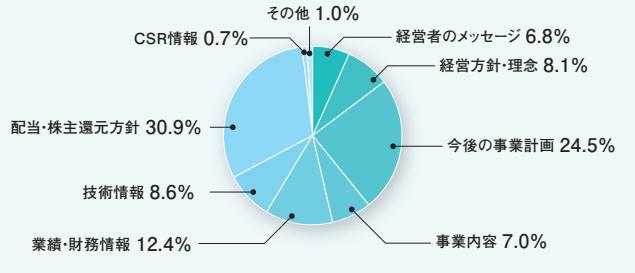
本年6月～7月に実施いたしました株主さまアンケートに多数のご回答をいただき、ありがとうございました。いただきました貴重なご意見は今後の経営やIR活動に活かしてまいります。

実施期間：2011年6月29日～7月31日
回答者：677名
回答率：12.7%
男女比：男性8割 女性2割

当社が開示している情報の中で、よくご覧になる資料は？



当社についてもっとお知りになりたい情報は？



今回のアンケートで、「株主通信の内容を読みやすく」とのご意見をいただきましたので、当社の技術を分かりやすくお伝えできるよう表現等を工夫いたしました。また、株主優待についてもさまざまなご意見をいただきました。今後の株主さまへの還元策を検討するうえでの参考とさせていただきます。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人および
特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

単元株式数 100株

公告掲載URL <http://www.techno-ryowa.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

諸手続き
お問い合わせ先 【住所変更、買取請求その他各種お手続きについて】

- 証券会社をご利用の株主様
お取引の証券会社等にお問い合わせ下さい。
- 特別口座に記録された株式をご所有の株主様
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせ下さい。

【未受領の配当金について】

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

特別口座をご使用の株主様へ お早めに株式をお振替え下さい

特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買を行うことができません(単元未満株式は除く)。また、特別口座で管理されている株式は相続や贈与時のお手続きが煩雑になってしまいます。

ご所有の株式が特別口座に記録されている場合は、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式をお早めにお振替え下さい。詳しいお手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

お手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL:0120-232-711 (通話料無料)

株式会社 **テクノ菱和**

<http://www.techno-ryowa.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

お問い合わせ TEL : 03-5978-2541



環境に優しい植物油インキ
を使用して印刷しています。

UD
FONT

